

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

一般社団法人かわさき福祉相談センター
--------------------

## ②施設・事業所情報

名称：川崎市大島保育園	種別：保育所版
代表者氏名：荒谷泰子	定員（利用人数）： 155（153） 名
所在地：〒210-0834 神奈川県川崎市川崎区大島4-17-2	
TEL：044-222-7252	ホームページ：https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000031349.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和25年9月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：川崎市	
職員数	常勤職員： 34 名 再任用職員数 1 名 会計年度任用職員数 20 名
専門職員	（園長） 1 名 （園長補佐） 1 名
	（主任） 25 名 （保育士） 10 名
	（保育者・保育補助） 8 名 （保健師・看護師） 1 名
	（栄養士） 2 名 （調理員） 2 名
	（用務員） 2 名 （調理補助） 3 名
施設・設備の概要	（保育室） 11 室 （事務室） 1 室
	（医務室） 2 室 （給食室） 1 室
	（記帳室） 1 室 （配膳室） 1 室
	（調乳室） 1 室 （洗濯室） 1 室
	（職員休憩室） 1 室 （更衣室） 2 室
	屋外（園庭） 1 屋外（屋上園庭） 1
屋外（トイレ） 1	

## ③理念・基本方針

## 【保育理念】

- ・ 児童福祉施設として子どもの最善の利益と福祉の増進を図る。
- ・ 入所児童及び地域の子どもの健やかな心身の育ちを保障する。
- ・ 子育てをしている保護者（入所児童・地域）への支援をする。

## 【保育目標】

『心身ともに健康な子ども』

- ・ よく食べ、よく遊ぶ子
- ・ 自分で考えて表現できる子
- ・ 自分を大切にし、友だちも大切にできる子

## 【保育基本方針】

健康……健康、安全に必要な習慣や態度が身につくようにしてきます。  
人間関係…散歩などを通して、地域の方々との触れ合いを大切にしていきます。

環境……色々な体験を通して、数・量・形・位置・時間などに関心を持って過ごします。  
 言葉……自分の気持ちを言葉で表わす楽しさを味わい、人の話を聞き、自分の経験や考えを伝えあう楽しさを経験していきます。  
 表現……豊かな感性が育つために、感じたこと、考えたことを自分なりに表現して楽しいでいきます。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・ 異年齢交流
- ・ 散歩
- ・ 木育

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年9月15日（契約日） ～ 2021年3月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（平成26年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

【「保育・子育てセンター総合支援センター」としての機能】

区のセンター園としてだけでなく、川崎市第1号の総合支援施設として、川崎区保育・子育て総合支援センター・地域子育て支援センターおおしまと共に、地域の子育ての拠点、区内保育所等の人材育成の拠点となることを目指しています。

コロナ禍で予定通りに実施できていない部分もありますが、産休明け保育や公立保育所初の一時的預かり事業にも取り組み、公立保育園だからこそできる経験豊かな職員と行政間とのつながりを強めとし、その中で職員も使命感を持ち、地域とのつながりや、民間保育所との連携などに取り組んでいます。

【インクルーシブ保育の実施】

昨年度、新築された施設のため、室内には十分なスペースがあり、バリアフリー構造でエレベーターも完備されています。障がいや配慮の必要がある児童、医療的ケアが必要な児童を受け入れて、子育て中の保護者も含めた心身のケアができるように、発達支援コーディネーターや看護師、行政と連携しています。

同時に、「インクルーシブ保育」を実践して、障がいの有無に関わらずに必要な保育を一緒に受けて共に育つ環境を整え、人間の多様性を尊重しています。

【ロードマップの活用】

「全体的な計画」を基にして作成したロードマップを基に、各職員は係や担当を分担して1年をかけて活動しています。職歴や経験、専門性の異なる様々な職員と共に、計画に沿った実践を心掛けることで、個々のスキルを上げると共に、園として保育の質の向上に向けた自己研磨に繋がっています。

◇改善を求められる点

【多人数の職員ゆえの会議や情報伝達の改善】

職員数が多いことで、クラス・学年等のグループによる会議が充実していますが、全員集合しての会議が、時間の制約もあって単なる報告会になり、意見交換ができず、発言者も限られています。

情報共有が書面になるため、内容の捉え方や把握に個人差があり、周知に時間を要してしまうため、アプリ活用などの書面以外での情報伝達の検討が望まれます。

【保育以外の業務の負担】

保育・子育て総合支援センターとして、地域支援等の保育以外の事業に関わる時間が増えており、今年度はコロナ禍対応の保育の検討も必要であるため、業務量が増えて全体の把握やフォローが難しくなっています。  
書類仕事が増えているにも関わらずパソコンが少なく使用できないため、残業をせざるを得ない環境になりつつあることが懸念されます。今後の対策について、関係機関も含めた協議・改善が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審するにあたり職員全体で話し合いをする中で、目指す保育や今後取り組むべきことが明確になり、行政の立場で求められることについての自覚も含め、改めて全体で確認することができました。また、保護者アンケートや御指摘いただいた点についても、改善するところは迅速に対応し、検討しながら今後の課題として中長期的に考えていきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり